



# ハイライトよねやま 137

## 1 寄付金速報 — 2011-12年度最初の寄付金は… —

2011-12年度最初の月である7月の寄付金は約1億8,000万円でした。前年度に比べて8.9%減、約1,800万円の減少です。普通寄付金が8.1%減、特別寄付金が11.5%減と、特別寄付金だけでなく、会員数減少に伴う普通寄付金の減少が厳しい滑り出しの一因となっています。

厳しい経済環境であり、東日本大震災の支援・復興に力を注ぐ時期ではございますが、日本のロータリーが世界に誇る奨学事業として、皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げます。

### 大内トヨ子さんが第100回メジャードナーに！

仙台平成RC、大内 博会員夫人のトヨ子さんが第100回米山功労者メジャードナーとなりました。個人寄付として1,000万円に達したのは9人目、ロータリアン以外では初めてです。この震災で自宅に被害があったにもかかわらず、米山に寄付をしたことについてトヨ子さんは、「震災は震災。今年中に目標額を達成しようと、もともと心に決めていました」と、言います。トヨ子さんは、夫の博会員が若いころ奨学金の支えで海外留学を果たし、“今の自分たちがあるのは奨学金制度のおかげ”という気持ちから、自身の貯金を寄付にあてています。



「米山奨学事業は、皆がお金を出し合って大きな奨学金となる。勉強は財産。どの国から来た留学生であれ、世界にたくさんある国の中から日本を選んで来日し、懸命に勉強する若者を応援したい」

## 2 来春採用の奨学生募集がスタート

2012年4月採用の新奨学生募集が始まりました。各地区米山記念奨学委員会からの報告により決定した指定校は全国で474校(前年度442校) 被推薦者数は1,559人(同1,643人)です。この中から地区の選考を経て、新規奨学生約600人が選ばれます。

地区から指定校に対して“学内選考の目安”を提示した地区は26地区。多くは「日本語運用能力のある学生」(23地区)、「国籍が偏らないように」(22地区)を挙げています。また、大学・大学院以外を対象とする「地区奨励奨学金」を導入したのは、昨年

2550 地区	アジア学院
2650 地区	敦賀短期大学
2660 地区	大阪日本語教育センター 学校法人コミュニケーションアート 大阪ハイテクノロジー専門学校
2680 地区	神戸 YMCA 学院専門学校 (財)PHD協会
2690 地区	就実短期大学 鳥取短期大学 津山工業高等専門学校
2710 地区	広島 YMCA 国際ビジネス専門学校 福山 YMCA 国際ビジネス専門学校

から1地区増えて6地区12校(表参照)となりました。大学生と同等の応募資格を有する「高専専攻科」を指定校とした地区は昨年に引き続きゼロでした。※募集要項・申込書は8月12日付で当会から指定校へ送付します。また、当会HPでは8月10日に指定校、募集要項・申込書を発表します。

## 3 ホームカミング制度で学友を招待しませんか？

ホームカミング制度は、元米山奨学生(学友)の里帰り制度です。活躍する米山学友を各地区で毎年1人招待し、地区大会等で現在の活躍を披露していただきます。海外在住の学友だけでなく、国内在住者も対象にできるほか、他地区出身の学友も招待することができます。費用は米山記念奨学会から補助されます(上限あり)。「寄付の成果が実感できる」と大変好評です。ぜひご活用ください。



## 4 台湾学友会による日本人支援奨学金の第3期生決定

台湾米山学友会（正式名称：（社）中華民国扶輪米山会）が恩返しとして始めた「日本人若手研究者奨学金」は3年目を迎え、今年は採用数を年間1人から2人に増員して募集しました。当会ホームページを通じた公募に5人の応募があり、このたび合格者2人が決定しました。

第3期奨学生に選ばれたのは、以下のお二人です。お二人には今年9月から1年間、台湾学友会から毎月25,000台湾ドルが支給されるほか、学友会メンバーがカウンセラーとなって、台湾での留学生生活を物心両面で支えます。



くどう ゆうな さん  
**工藤 夕奈さん**

国際教養大学在学中。9月より交換留学で国立台湾大学に留学。高校の時にRI青少年交換プログラムで、スウェーデンに留学。



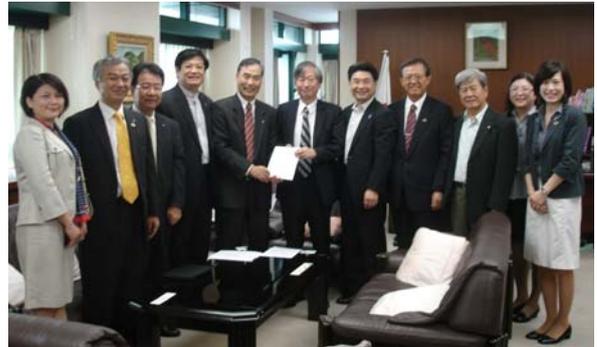
かとう ゆか さん  
**加藤 有花さん**

国立中山大学（高雄）華語中心にて語学研修中。9月より国立高雄師範大学芸術学部視覚デザイン学科に進学予定。

## 5 台北南山RCが500万円の義援金贈呈

ハイライトよねやま 134号でお知らせした台湾の新しい日本語クラブ・台北南山RCタイペイナンシャンの会員一行が7月20日、台北の交流協会（日本の対台湾窓口機関）を訪問して、東日本大震災の義援金500万円を今井正代表に贈呈しました。

今回の義援金について、同クラブの初代幹事を務める米山学友の歐元韻さんは、「台北南山RCは、在台日本人と日本留学経験者によって結成され、全員、日本に深い感情を持っています。一日でも早く復興できるように会員一同、心からお祈りしております」と、メッセージを寄せてくれました。台湾は、官民合わせて200億円超と、今回の震災に際し、世界の中でも最高額の義援金を送ってくれています。



### 義援金と言えば…

今回の震災で、国内外の米山学友会および学友・奨学生個人から当会に送金された義援金は総額約740万円にのぼります。この義援金は全額、当会から被災地区に送金しました。そのほかにも、多くの学友が世話クラブを通じて義援金を送ってくださっています。

### お知らせ



## 第3回中国学友会総会のご案内

北京

2009年に正式発足した中国米山学友会の第3回総会が、10月22日（土）に北京で開催されます。同学友会は、北京・天津を中心とする華北分会と上海分会で構成され、各分会が毎年交互に総会の運営を担当しています。

今年の総会を主催する華北分会の姫軍会長は、「今回は、台湾や韓国、日本の学友会にも参加を呼びかけ、この北京でアジアの米山学友の親善交流を図りたい」と、意気込みを語っています。

昨年7月に上海で開かれた第2回総会・懇親会には、万博会期中ということもあり、日本からもたくさんの方々が参加しました。今年も「ロータリアンの参加は大歓迎」とのことですので、関心のある方はぜひご参加ください。（申込締め切り日：9月15日）

詳細は、米山奨学会ホームページをご覧ください。 <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>